



「進級の自覚」一つ上の学年になって

新緑のさわやかな季節になりました。勉強にも運動にも最適な季節ですが、3年目となったコロナ禍は終息の気配が見えません。しかし、素直で明るい「葦高っ子」とともに、「3蜜の回避」「手洗い・うがい」「換気・消毒」等の感染症対策を講じつつ、与えられた環境で『できること』を確実に実践しながら、日々前向きにがんばっています。

どの学年も、入学そして進級し、「一つ上の学年になった」という「自覚」が見られます。特に5年生、6年生は「高学年」として「学校のために」という「奉仕の心」を実践する子どもたちが増えています。

お互いに助けて、助けられながら生活することの大切さに気づけるようにするためにも「奉仕の心」を、子どもたちと共に磨いてまいりたいと思っています。

校長 藤井 朗



自主的な 朝の「玄関そうじ」



校門での自主的な「あいさつ運動」

1年生を迎える会!



運営委員「司会」



5年生「クイズ」



2年生「呼びかけ&プレゼント」



3年生「クイズ」



6年生「クイズ&プレゼント」



4年生「寸劇&パフォーマンス」

4月27日（水）に体育館で『1年生を迎える会』を行いました。

感染症対策のため、学年ごと入退場して、趣向をこらした出し物を1年生に披露しました。

寸劇やクイズ プレゼントなど、2～6年生の「1年生を歓迎する気持ち」が形となった、とても楽しい時間となりました。